

稲作情報 No.9

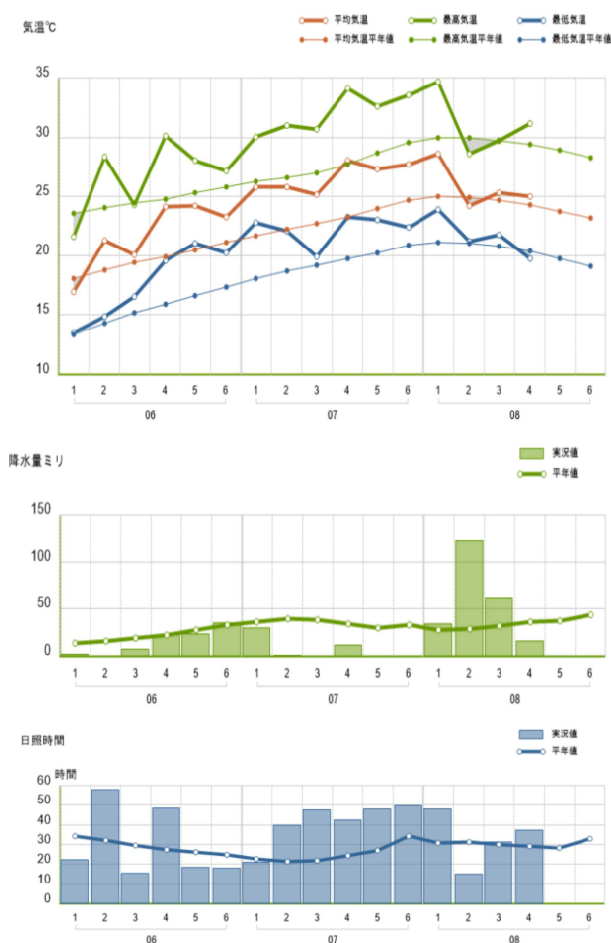
発行日: 令和7年8月20日
発行: 仙北地域振興局農林部農業振興普及課

～成熟期はやや早まる見込み。刈り遅れに注意！～

1 気象経過と今後の気象予報

これまでの気象経過(アメダス大曲)

図1 半旬ごとの気象経過(秋田県農業気象システムより引用)



向こう1か月の気象予報(8/16～9/15)

- ・仙台管区気象台より令和7年8月14日に発表された1か月予報によると、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- ・東北日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・平均気温は高い確率が80%で、週別の気温は1週目(8/16～8/22)が高い確率80%、2週目(8/23～8/29)は高い確率50%、3～4週目(8/30～9/12)は高い確率が70%です。
- ・降水量は東北日本海側で、ほぼ平年並の予報です。

図2 東北地方 1か月予報(出典:気象庁HP)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)		
気温	東北地方	向こう1か月 08/16～09/15
		1週目 08/16～08/22
		2週目 08/23～08/29
		3～4週目 08/30～09/12
降水	東北日本海側	向こう1か月 08/16～09/15
	東北太平洋側	向こう1か月 08/16～09/15
日照	東北日本海側	向こう1か月 08/16～09/15
	東北太平洋側	向こう1か月 08/16～09/15

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

2 生育概況(水稻定点調査結果より)

7月の気温はかなり高く経過し、日照時間はかなり多くなりました。一方で、7月の降水量はかなり少なくなったことで地域によっては用水が不足し、中干し以降の間断かん水や出穂期以降の湛水管理が十分に実施できない事例も見られました。8月上旬は気温が高く、降水量はかなり多くなりました。

管内の出穂期(盛期)は7月31日で平年より早くなりました(平年差2日早)。

穂揃期(8月12日～15日)に実施した定点調査結果(あきたこまち、10地点平均)は、穂数は415本/㎡(平年比93%)と少なくなりましたが、一穂着粒数は83.2粒/穂(平年比114%)と多いことから、㎡当たり全粒数は34.3千粒(平年比106%)でやや多い状況です。葉数は13.0葉(平年差+0.2葉)でした。

3 当面の技術対策

1. 斑点米カメムシ類防除を徹底しましょう。

8月7日に秋田県病害虫防除所から、**斑点米カメムシ類に関する防除対策情報第10号が発表されています**。斑点米カメムシ類の発生量はほ場間差が大きく、水田内にノビエやカヤツリグサ科雑草が多く発生しているほ場では発生量が多く確認されています。

水田内に出穂したホタルイなどのカヤツリグサ科雑草やノビエが発生しているほ場などでは、斑点米カメムシ類の発生量が多くなると予想されることから、出穂期10日後の薬剤防除に加えて、出穂期24日後頃にもエクシード剤(収穫7日前まで)またはキラップ剤(収穫14日前まで)による茎葉散布を徹底してください。また、本年は収穫時期が早まると予想されることから、薬剤の使用時期(収穫前日数)には十分留意してください。

2. 登熟を向上させる水管理

落水時期が早いと、葉色の低下や葉の枯れ上がり、根の機能減退等により登熟が妨げられ収量、品質、食味が低下を招くことが多いため、早期落水は避けましょう。出穂後30日間は間断かん水により土壤水分を保つことで稲体の活力を維持しながら、登熟の向上に努めましょう。

また、フェーン現象等で乾燥した風が強い場合は、湛水状態を保ち、蒸散による稲体の水分消費を軽減させましょう。

3. 適期刈り取りにより品質向上を目指しましょう！

本年は出穂期が早かったことに加え、出穂期以降に気温が平年より高く経過しており、今後とも気温が高く経過する見込みであることから、出穂期翌日からの平均気温の積算による刈り取り適期はやや早まる予想です。

刈り遅れることで胴割れ米の発生が増加し、品質低下につながるため適期収穫を徹底しましょう。刈り取り適期は積算気温の他、積算日照時間や出穂後日数も判断の目安にしながら、最終的には各ほ場ごとに籾の黄化程度を確認して判断してください。

【収穫時期の判断目安】

- ①出穂後日数: 早生種(あきたこまち・秋のきらめき)が45日前後、中晩生種(ゆめおぼこ、サキホコレ等)は50日前後が目安です。
- ②積算気温 : 早生種は950～1,050℃、中晩生種は1,050℃～1,150℃に到達する日を目安にします(表1参照)。また、積算気温が早生品種で1,100℃、中晩生種で1,200℃を超えると、立毛中でも胴割れ米が急増するので適期収穫に努めてください。特に本年のような高温年は胴割れ米が発生しやすい傾向にあるため、刈り遅れに注意してください。

③積算日照時間:あきたこまち(収量基準570kg/10a)の場合、出穂期翌日からの積算日照時間が200時間に到達した日を目安とします。

④籾・枝梗の黄化程度:(籾の熟色)葉や枝梗が緑色であっても**籾の黄化程度が90%**の頃(枝梗の黄化程度)主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃

表1 アメダスデータにおける積算気温到達日予測

アメダス地点	積算気温	出穂期						
		7月25日	7月28日	7月31日(盛期)	8月3日	8月6日	8月9日	(参考:平年)8月2日
大曲	950℃到達	9月1日	9月5日	9月8日	9月13日	9月17日	9月20日	9月12日
	1,050℃到達	9月5日	9月9日	9月13日	9月18日	9月22日	9月26日	9月17日
	1,150℃到達	9月10日	9月14日	9月18日	9月23日	9月28日	10月2日	9月22日
角館	950℃到達	9月1日	9月5日	9月9日	9月13日	9月17日	9月21日	9月12日
	1,050℃到達	9月6日	9月10日	9月14日	9月18日	9月22日	9月26日	9月17日
	1,150℃到達	9月11日	9月14日	9月19日	9月24日	9月28日	10月3日	9月22日
田沢湖	950℃到達	9月3日	9月7日	9月11日	9月15日	9月19日	9月23日	9月14日
	1,050℃到達	9月8日	9月12日	9月16日	9月21日	9月25日	9月29日	9月20日
	1,150℃到達	9月13日	9月17日	9月22日	9月27日	10月2日	10月6日	9月25日

※8月19日まで本年値、それ以降は平年値で試算

4.収穫後はきめ細やかな乾燥・調製で高品質米の仕上げを！

○高水分籾のコンバイン収穫は損傷が大きいため、籾水分25%以下で作業を行います。

○乾燥方法は二段乾燥を基本とし、乾燥の仕上がりは、玄米水分15.0%を目安とします。

過乾燥になると胴割粒が発生するとともに、食味が低下するので注意します。

○品種切り替え時はコンバインや乾燥機その他、運搬車等も丁寧に掃除をして、異品種の混入を防いでください。

コンバインや乾燥機等の点検・整備を万全に行いましょう！

計画的な作業や安全確認の徹底により、農作業事故を防止しましょう！